

# 「三重の文化振興方針」の 意見交換会 (仮称)



## ◆開催日時及び開催場所

10月20日(土)

14:00~16:00

三重県鈴鹿庁舎 4階/46会議室

10月21日(日)

14:00~16:00

三重県松阪庁舎 6階/大会議室

◆募集人数 各会場50人程度 (申込多数の場合抽選。抽選の結果、参加いただけない方のみご連絡いたします。)

## ◆時間と内容

13:30~14:00 ● 受付

14:00~14:05 ● あいさつ

14:05~14:45 ● 基調講演

テーマ「これからの博物館に求められるもの」

講師 10月20日(土)

松月 清郎さん (ミキモト真珠島 真珠博物館館長)

10月21日(日)

宇野 文男さん (福井大学 教育地域科学部教授)

14:45~15:00 ● 「三重の文化振興方針(仮称)」骨子案 及び  
「博物館のあり方に関する基本的な考え方」の説明  
説明 三重県生活部

15:00~16:00 ● 意見交換

16:00 ● 閉会

## 講師プロフィール (敬称略)

まつづき きよお  
松月 清郎



ミキモト真珠島 真珠博物館館長  
三重県伊勢市出身。(株)御木本真珠島に入社、昭和60年に設立された真珠博物館の学芸員として、人と真珠の関わりを紹介する展示やイベントを多数企画されてきた。現在、同館館長。三重県博物館協会副会長として、県内博物館の連携と発展に尽力されている。

うの ふみお  
宇野 文男



福井大学 教育地域科学部教授  
三重県三雲町(松阪市)出身。国立民族学博物館情報企画課専門官を経て2000年4月から現職。専門は、博物館学。地域の文化と博物館をテーマに、ワークショップやコラボレーション企画展など、博物館と大学教育、地域社会を結び実践的な取組をされている。

主催/三重県文化審議会・三重県生活部

## 開催趣旨

三重県文化審議会では、知事から諮問を受け、新しい文化振興策として「三重の文化振興方針(仮称)」の策定について、幅広い視点に立った文化振興の基本的な考え方や、文化振興拠点の役割、機能を検討しています。

また、文化振興を図るうえで、こうした拠点が大きな役割を果たすものと考えており、そのなかでも重要な拠点となる新しい博物館や公文書館のあり方について、併せて検討をしているところです。

このたび、「三重の文化振興方針(仮称)」骨子案および「博物館のあり方に関する基本的な考え方」をまとめましたので、県内の各関係団体や市町の関係部局をはじめ、県民の皆様から広くご意見をお伺いし、今後の検討に反映していくため、意見交換会を開催します。

## 会場のご案内

10/20(土)



**三重県鈴鹿庁舎**  
(鈴鹿市西条5丁目117)

10/21(日)



**三重県松阪庁舎**  
(松阪市高町138)

キ-リ-ト-リ-線

参加をご希望の方は、郵送、FAX、またはEメールにてお申し込みください。

「三重の文化振興方針(仮称)」の意見交換会

## 参加申込書

◆お申し込み先 〒514-8570 津市広明町13番地  
三重県生活部文化振興室 辻、冨永まで  
TEL059-224-2175 FAX 059-224-2408  
E-mail:bunka@pref.mie.jp

お名前 ----- ----- -----	ご住所 〒 ----- (団体名)	
	ご連絡先 電話番号 ----- ( ) ----- E-mail	
参加希望日 ○をつけてください。	10/20 (土)	10/21 (日)

※いただいた個人情報は、本意見交換会に関する連絡以外には使用しません。

※団体でお申し込みの方は、団体または代表者のご住所・ご連絡先をご記入ください。